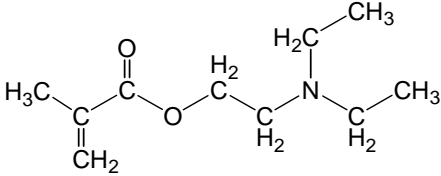


化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 64	官報公示 整理番号	2 - 1048(化審法) 1 - 317(化学物質管理促進法)	CAS 番号	105 - 16 - 8
名 称	メタクリル酸 2-(ジエチルアミノ)エチル 別名：2-(ジエチルアミノ)エチルメタクリレート、 DEMA		構造式		
分子式	C ₁₀ H ₁₉ NO ₂		分子量	185.27	
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 99%以上 不純物 : メタクリル酸エチル 添加剤または安定剤: ヒドロキノンモノメチルエーテル					
物理・化学的性状データ 外 観: 無色液体 ²⁾ 融 点: -30 ³⁾ 沸 点: 186 (常圧) ³⁾ 引 火 点: 報告なし 発 火 点: 報告なし 爆発限界: 報告なし 比 重: d ₄ ²⁵ 0.920 ²⁾ 蒸気密度: 6.39(空気 = 1) 蒸 気 圧: 文献なし 分配係数: log Pow ; 1.95(計算値) ⁴⁾ 加水分解性: 水中で加水分解を受け、メタクリル酸及び 2-ジエチルアミノエタノールを生じる 解離定数: 文献なし スペクトル: 主要マススペクトルフラグメント m/z 86(基準ピーク, 1.0)、113(0.08)、41(0.08) ⁵⁾ 吸脱着性: 文献なし 粒度分布: 該当せず 溶 解 性: 文献なし 換算係数: 1 ppm = 7.71 mg/m ³ (気体, 20) 1 mg/m ³ = 0.130 ppm					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質のヒトへの影響に関する報告はない。

実験動物において強度の眼及び皮膚刺激性が認められており、反復投与毒性では腎臓への影響や貧血所見がみられている。また、*in vitro* の染色体異常試験において陽性の報告がある。発がん性に関する報告はない。生殖・発生毒性では分娩率の低下が報告されている。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されやすい。環境省のモニタリングデータはない。水圏環境生物に対する急性毒性は藻類に対しては強く、甲殻類及び魚類については非常に弱い。

2) 指摘事項

(1) 実験動物において強度の眼及び皮膚刺激性を示す。

(2) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2002).
- 2) 14102 の化学商品, 化学工業日報社(2002).
- 3) 化学物質管理促進法対象物質データ(改訂版), 化学工業日報社(2001).
- 4) KowWin ver 1.66, Syracuse Research Corporation(2001).
- 5) NIST Library of 54K Compounds(1998).